

組織人事

ジエック東理社

撫原取締役が新社長に就任

ジエック東理社は6月2日開催の定時株主総会及び取締役会で撫原浩嗣取締役が6月2日付で新社長に就任する役員人事を決めた。新社長の撫原氏は1964年1月31日生まれの61才。1992年4月に日本酸素入社。以来オンスイト・プラント事業本部でPEC宇宙・低温機器統括部プロジェクトマネージャー、同営業部長、プラント事業部SCE営業部長を歴任した。

2019年6月にジエック東理社に転出。取締役統括部長に就任していた。



撫原新社長

リンクス

社長交代

リンクス（広島県福山市）は7月1日付で、同社事務取締役の松本脩氏が代表取締役社長に就任するトップ人事を行った。これに合わせて、前社長の松本眞氏は代表取締役会長に就任した。

松本脩氏は1987年12月21日生まれの37歳。2012年3月千葉大学大学院工学研究科卒業後、

同年4月太陽日酸入社、15年5月大学内ベンチャー企業での開発職を経て、19年4月同社入社、23年10月専務取締役、現在に至る。



松本新社長

コフロック

役員人事

コフロック（京都府京田辺市、小島望社長）は6月27日開催の株主総会にて次の役員人事を行った。▽新任取締役福永健一FP事業部長▽新任取締役古川俊太開発部長▽退任（監査役）矢嶋宏光

なお、6月2日付で船井厚志FS事業部長が常務取締役就任した。

日東工機

日東工機

日東工機（鎗田敏生社長）は、6月26日付で非常勤取締役に河内茂氏が就任する役員人事を行った。河西聡取締役は退任した。

岩谷産業

東京本社移転

6月30日営業開始

岩谷産業（間島寛社長）は、東京本社をJR浜松町駅前に移転、6月30日より営業を開始した。新本社は、都営地下鉄浅草線「大門駅」B5出口に直結、住所は東京

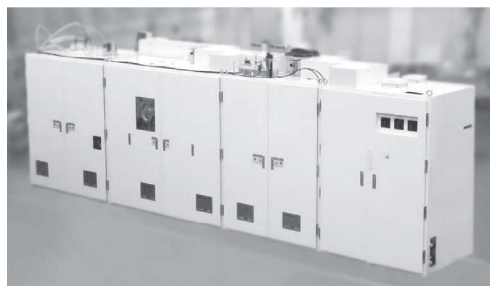
海外市場

太陽日酸

ポーランドの研究機関にMOCVD装置を納入

太陽日酸（永田研二社長）はポーランドの科学アカデミー高圧物理研究所（Unipress）へMOCVD装置を2026年に複数台納入する。

納入先のUnipressは1972年に設立されたポーランド政府所



ポーランドの研究機関へ納入予定と同型の装置

都港区浜松町2・3・1日本生命浜松町クレアタワー（総合受付17階）、電話番号は従来のままで（代表）03・5405・5711である。

属の最高権威の科学研究機関。同研究所で確立した世界クラスのGa

Nバルク結晶成長技術と納入するMOCVD装置を組み合わせることで可能で、窒化物材料のエピタキシャル成長の研究開発を加速させる。また、その他のワイドバンドギャップ半導体製造にも用いられ、窒化物半導体開発の貢献にも期待がかかる。

エア・リキード

メキシコ湾岸パイプラインのASUを改良

エア・リキードはルイジアナ州（アメリカ）で最大2億ドルを投資し、既存ASU1基に改良を加え近代化して、テキサスとルイジアナに広がる湾岸ガスパイプライン網に接続する。そのため、同パイプラインも約48km延伸する。A

SUの再稼働は2027年を予定する。

化学大手ダウとの長期ガス供給契約の更新に基づく投資であるが、パイプライン網周辺の外部ユーザーにも酸素や窒素など余剰分を供給する。

米半導体向け高純度ガス供給強化

エア・リキードは5000万ドル強を投じて、マイクロンやルネサス等の工場がある米国南東部の半導体世界大手プラント向けの製造能力を強化する。最新型大規模プラントの設計から建設、運営まで担い、チップ製造に利用する超高純度の窒素と酸素をオンサイトで供給する。稼働は2027年末を予定する。

なお、ユーザーや製造能力については明らかにしていない。

訂正

本誌No.1059・9頁の大和熔材記事で、『なお、10大学、高専等のうち6ヶ所は岡山大学液化機を使うが、徳島大学、甲南大学、奈良工業高等専門学校は大阪大学の液化機を使う。理由は岡山大学よりも距離が近いからだ』とありますが、正しくは『なお、8連携機関のうち7ヶ所は岡山大学の液化機を使う予定。奈良工業高等専門学校は既に大阪大学が対応している』です。訂正してお詫びいたします。

ガスレビュー No. 1061

令和7年（2025）8月1日号
〒540-0012 大阪市中央区谷町2丁目3番12号 マルイト谷町ビル9階
TEL 06(6450)6162 FAX 06(6450)5199
東京情報室 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目17番4号
TEL 03(5777)5891 FAX 03(5777)5892
● 発行人 編集人 小泉 善樹 ● 発行所 (株)ガスレビュー
https://www.gasreview.co.jp

月2回（1日・15日）発行 購読料 年間56,870円（送料・税込）
申し込みは電話FAX又はインターネット

本誌記事等の無断転載・複写を禁じます